

第23期 事業報告書
(2022年7月1日～2023年6月30日)

法人の名称 特定非営利活動法人 よこはま里山研究所

1 事業の成果

第23期もコロナ禍の影響は残ったが、全主催事業への参加者数はのべ2,668名と過去最高を記録した（第21期2,270名→第22期2,459名）。この要因としては、「森と畠と音楽と」（244名→445名）と「トンボとり大作戦」（407名→525名）の大幅増が強く影響している。コロナ禍に身近な自然を求めるニーズが強まったと言われているが、一時的な動きなのかどうか今後の動向を注視したい。

「はまどま」に関しては、2020年8月からコーディネーターが入り、「街なかの里山の入口」として利用しやすい環境づくりに向けた情報整理を進めてきた。これまでコロナ禍のために新たな人を巻き込んだり、新しい企画を立ち上げたりすることが難しかったが、2023年6月からは2代目のコーディネーターが入り、「はまどま」の利用を促進しながら担い手づくりをすすめていく。

収支については、受託事業収入が堅調なことから9期連続の黒字となった。本期も「もったいないから竹細工」の参加者が多数入会したこと、よこはま夢ファンドを通して寄付を集めて助成金として活用できていることも、財務状況の安定化に役立っている。一方、運営メンバーの流動性が低く、高齢化が進んでいることから、財務基盤が確かなうちに、将来の環境・社会・経済状況の変化を見通し、計画性を持って「里山とかかわる暮らし」と「里山をいかす仕事づくり」をすすめる必要がある。

2 事業内容

1) 特定非営利活動に係る事業

(1) 里山（樹林地や農地等）の保全・活用、里山と人をつなぐ活動

ア ヤマ事業

・内 容：①NORAの山仕事（川井緑地の樹林地保全）、②竹を活かす山仕事（中井町での竹林保全）、③よこはま里山レンジャーズ（横浜市内6か所の環境保全ボランティアのコーディネート）〔連携：認定NPO法人自然環境復元協会〕、④都市の里山資源の活用推進事業（グリーンウッドワークの推進）〔令和4年度「緑の募金」公募事業〕、⑤山道具の安全使用の推進〔提携：株式会社シンコー〕、⑥まちの近くで里山をいかすシゴトづくり／環境NPO運営スタッフ懇談会、⑦安全で楽しい森林の保全・利用を指導できるリーダー養成事業（令和4年度「緑と水の森林ファンド」、主催：モリダス）

・日 時：通年

・場 所：①④川井特別緑地保全地区（旭区下川井町）、②中井町など、③横浜市内6か所、⑥オンライン、⑦川井特別緑地保全地区、にいはる里山交流センター（緑区新治町）、多摩市立グリーンライブセンターなど

・従事者人員：4人

・受益対象者：樹林地の保全・活用に関心のある者 749人（①352人、②88人、③68人、④83

人、⑦158人)

・支出額：1,282,484円

イ ノラ事業

- ・内 容：森と畠と音楽と（厚木市・伊勢原市での農地保全と里山文化の発信）、城山里山サポーター（相模原市での農地保全）【東京ガス「森里海をつなぐプロジェクト」】
- ・日 時：通年
- ・場 所：厚木市七沢、相模原市緑区小松・城北地区
- ・従事者人員：2人
- ・受益対象者：農地の保全・活用に关心のある者 445人
- ・支 出 額 46,114円

(2) 持続可能な地域コミュニティづくり、暮らしの提案、イベントの企画・運営

ア ムラ事業

- ・内 容 ①NORA野菜市、②生産者の心とともに季節を味わう神奈川野菜の食事会、③もったいないから竹細工（竹かご教室・竹細工工房）、④はぶすぱラボ、⑤はまどまで土間仕事、⑥『食べもの通信』読者会、⑦里山の恵み・伝統文化と出会う上映会【共催：郷土映像ラボラトリ】、⑧はまどま諸々のほか、はまどま改革（横浜市市民活動推進基金「よこはま夢ファンド」）、地域連携・ネットワーク活動など
- ・日 時 通年
- ・場 所 はまどま（南区宿町2-40大和ビル119）
- ・従事者人員 7人
- ・受益対象者 持続可能な地域コミュニティづくりに关心のある者 950人（③816人、④41人、⑤17人、⑥73人、⑧3人）
- ・支 出 額 2,377,011円

イ ハレ事業

- ・内 容 設立20周年記念事業 | ①プロジェクト紹介動画、②絵本・カルタ制作（国際花と緑の博覧会記念協会「花博自然環境助成」）
- ・日 時 通年
- ・場 所 オンライン
- ・従事者人員 6人
- ・受益対象者 里山保全・地産地消に关心のある者 約200人
- ・支出額 0円

(3) 里山の生物-文化の多様性保全に資する普及啓発、情報発信

ア イキモノ事業

- ・内 容 トンボとり大作戦（トンボはどこまで飛ぶかフォーラム）
- ・日 時 6月～10月
- ・場 所 京浜臨海部

- ・従事者人員 1人
- ・受益対象者 生き物に関心のある者 525人
- ・支出額 0円

イ 広報事業

- ・内 容 ウェブサイトの更新、「里山と暮らしをつなぐメールマガジン」配信、SNS(Twitter・Facebook・Instagram・YouTube)による情報発信、年間報告書の作成
- ・日 時 通年
- ・場 所 インターネット空間ほか
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 里山に関心のある者 閲覧頁数 11,380(月平均)
- ・支出額 1,122,971円

(4) 里山に関する調査研究・コンサルティング・人材育成・講師派遣等

ア 協働・委託事業

- ・内 容 ①ビオトープ整備のアドバイザー派遣〔委託：横浜市環境創造局みどりアップ推進課〕、②長浜公園トンボ池等管理、野島公園ビオトープ水路環境調査〔委託：(公財)横浜市緑の協会〕、③本牧市民公園、根岸森林公園トンボとり大作戦〔委託：(公財)横浜市緑の協会、横浜植木(株)〕、④森づくりボランティア派遣及び体験事業〔委託：横浜市環境創造局みどりアップ推進課〕、⑤里地里山入門講座企画〔委託：横浜市環境創造局農政推進課〕、⑥森づくり安全管理研修・入門講座 企画実施〔委託：横浜市環境活動支援センター〕など
- ・日 時 通年
- ・場 所 ①横浜市内の小中学校 27校、②長浜公園、野島公園(金沢区)、③本牧市民公園、根岸森林公園(中区)、④新治市民の森、上川井市民の森など市内 7か所、⑤寺家ふるさと村、⑥環境活動支援センターなど
- ・従事者人員 4人
- ・受益対象者 里山に関心のある行政・企業・市民等 (④118人、⑤51人)
- ・支出額 7,797,859円

イ 委員・講師派遣等

- ・内 容 委員、講師・執筆など
- ・日 時 通年
- ・場 所 各地
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 里山に関心のある行政・企業・市民団体等
- ・支出額 0円